

令和5年度

袋井市森町広域行政組合会計
歳入歳出決算審査意見書

袋井市森町広域行政組合監査委員



袋広行組監第10号
令和6年8月16日

袋井市森町広域行政組合

管理者 袋井市長 大場 規之 様

袋井市森町広域行政組合

監査委員 久永 豊彦

監査委員 寺田 守

令和5年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算審査の意見について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項を準用する同法第292条の規定により、審査に付された令和5年度袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見書を提出する。

目 次

	ページ
1 審査の種類 -----	4
2 審査の対象 -----	4
3 審査の着眼点 -----	4
4 審査の主な実施内容 -----	4
5 審査の実施場所及び日程 -----	4
6 審査の結果 -----	4
7 決算の概要 -----	5
(1) 歳 入 -----	5
(2) 歳 出 -----	6
8 実質収支に関する調書 -----	6
9 財産に関する調書 -----	7
10 基金運用状況調書 -----	9
11 まとめ -----	9

(注)

文中及び各表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 金額の単位未満の数値は原則として四捨五入した。このため、合計額又は差額が一致しない場合及び合計額又は差額を調整したことがある。
- 2 比率は、百分率で小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- 3 文中及び表中に用いた符合等の用法は次のとおりである。
 - 「0.0」 …… 該当数字はあるが、表示単位未満を四捨五入した結果のもの
 - 「－」 …… 該当数字のないもの、算出不能又は無意味なもの
 - 「△」 …… 対比又は比較等がマイナスとなったもの
 - 「皆増」 …… 前年度に数値がなく全額増加したもの
 - 「皆減」 …… 本年度に数値がなく全額減少したもの

1 審査の種類

決算審査(地方自治法第292条)

2 審査の対象

令和5年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算

3 審査の着眼点

- (1) 決算書及び附属資料が、関係法令に基づいて作成されているか。
- (2) 決算書類に記載された計数等は正確であるか。
- (3) 予算の執行状況は適正であるか。

4 審査の主な実施内容

袋井市森町広域行政組合監査基準に準拠し、審査の着眼点に基づき、袋井市森町広域行政組合管理者から提出された令和5年度の決算書及び附属書類並びに帳票及び証拠書類とを照合点検するとともに、関係職員から説明を聴取し、審査を実施した。

5 審査の実施場所及び日程

- (1) 袋井市 監査室
- (2) 令和6年7月19日

6 審査の結果

審査に付された令和5年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、各計数に誤りはなく、関係諸帳簿及び証拠書類といずれも符合し、適正であると認められた。

7 決算の概要

(1) 歳入

(単位:千円、%)

区分 款	令和4年度 収入済額 (A)	令和5年度					増減額 (D)-(A)	前年度 対比 (D)/(A)
		予算現額 (B)	調定額 (C)	収入済額 (D)	執行率 (D)/(B)	構成比		
1 分担金及び 負担金	2,867,948	3,027,058	3,026,390	3,026,390	100.0	87.9	158,442	105.5
2 使用料及び 手数料	234,415	217,585	225,559	225,559	103.7	6.6	△ 8,856	96.2
3 県支出金	18,965	18,683	18,355	18,355	98.2	0.5	△ 610	96.8
4 財産収入	3	965	3	3	0.4	0.0	0	100.0
5 繰入金	4,000	44,377	44,377	44,377	100.0	1.3	40,377	1,109.4
6 繰越金	38,997	47,854	47,855	47,855	100.0	1.4	8,858	122.7
7 諸収入	23,028	17,278	18,175	18,175	105.2	0.5	△ 4,853	78.9
8 組合債	48,800	66,000	62,100	62,100	94.1	1.8	13,300	127.3
合計	3,236,155	3,439,800	3,442,814	3,442,814	100.1	100.0	206,659	106.4

歳入決算額は、予算現額3,439,800千円に対し、収入済額3,442,814千円であり、予算現額に対する収入済額の執行率は、100.1%(前年度100.1%)となっている。

収入済額を前年度と比較すると206,659千円(6.4%)の増加となり、構成比は、分担金及び負担金87.9%、使用料及び手数料6.6%、組合債1.8%の順となっている。

市町別分担金及び負担金調書

(単位:千円)

市町別	共通費分担金	衛生費分担金	消防費分担金	消防費負担金	合計
袋井市	31,382	1,261,324	1,104,306	54,653	2,451,665
森町	6,192	231,544	322,630	14,359	574,725
合計	37,574	1,492,868	1,426,936	69,012	3,026,390

(2) 歳 出

(単位:千円、%)

区分 款	令和4年度 支出済額 (A)	令和5年度						増減額 (C)-(A)	前年度 対比 (C)/(A)
		予算現額 (B)	支出済額 (C)	翌年度 繰越額 (D)	不用額 (E)	執行率 (C)/(B)	構成比		
1 議会費	433	461	433	0	28	93.8	0.0	0	100.0
2 総務費	36,757	38,636	37,844	0	792	97.9	1.1	1,087	103.0
3 衛生費	1,458,647	1,673,445	1,635,613	0	37,832	97.7	48.5	176,966	112.1
4 消防費	1,279,673	1,356,564	1,340,071	0	16,493	98.8	39.7	60,398	104.7
5 公債費	412,791	361,739	361,222	0	517	99.9	10.7	△ 51,569	87.5
6 予備費	0	8,955	0	0	8,955	0.0	0.0	0	—
合 計	3,188,301	3,439,800	3,375,182	0	64,618	98.1	100.0	186,881	105.9

歳出決算額は、予算現額3,439,800千円に対し、支出済額3,375,182千円、不用額64,618千円で、予算現額に対する支出済額の執行率は、98.1%(前年度98.6%)となっている。

支出済額を前年度と比較すると186,881千円(5.9%)の増加となり、構成比は、衛生費48.5%、消防費39.7%、公債費10.7%の順となっている。

8 実質収支に関する調書

令和5年度決算においては、歳入総額3,442,814千円、歳出総額3,375,182千円、歳入歳出差引額は67,632千円が実質収支となっている。

9 財産に関する調書

(1) 公有財産

ア 土地及び建物

(単位: m²)

区 分	土地(地積)			建物(非木造延面積)		
	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度末 現在高
火 葬 施 設	36,140.56	0.00	36,140.56	1,448.18	0.00	1,448.18
ごみ処理施設	74,386.33	0.00	74,386.33	7,796.88	0.00	7,796.88
下流水路管理道路	980.94	0.00	980.94	—	—	—
し尿処理施設	31,282.45	0.00	31,282.45	4,852.49	0.00	4,852.49
搬 入 路	2.81	0.00	2.81	—	—	—
袋井消防庁舎	4,098.21	0.00	4,098.21	4,099.74	0.00	4,099.74
消防庁舎駐輪場	—	—	—	9.52	0.00	9.52
車庫備蓄倉庫棟	—	—	—	167.79	0.00	167.79
総合訓練塔	—	—	—	324.00	0.00	324.00
消防訓練塔	—	—	—	192.00	0.00	192.00
袋井消防署浅羽分署	—	—	—	734.52	0.00	734.52
袋井消防署山梨分遣所	—	—	—	509.25	0.00	509.25
袋井消防署森分署	—	—	—	952.34	0.00	952.34
合 計	146,891.30	0.00	146,891.30	21,086.71	0.00	21,086.71

イ 工作物

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
ごみ処理施設調整池下流水路柵渠及び管理道路	1,265.00 m ²	0.00 m ²	1,265.00 m ²
合 計	1,265.00 m ²	0.00 m ²	1,265.00 m ²

(2) 物 品

ア 事務局

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽 四 自 動 車	1 台	0 台	1 台

イ 施 設

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽 ト ラ ッ ク	1 台	0 台	1 台
ダ ンプ カ ー	1 台	0 台	1 台
普 通 自 動 車	1 台	0 台	1 台
軽 四 自 動 車	1 台	0 台	1 台
フ ォ ー ク リ フ ト	2 台	0 台	2 台
ホ イ ー ル ロ ー ダ ー	1 台	0 台	1 台

ウ 消 防

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
救 急 車	6 台	△ 1 1 台	6 台
指 令 車	1 台	0 台	1 台
連 絡 車	3 台	0 台	3 台
査 察 車	1 台	0 台	1 台
広 報 車	1 台	0 台	1 台
指 揮 車	1 台	0 台	1 台
指 揮 支 援 車	1 台	0 台	1 台
支 援 車(マイクロバス)	1 台	0 台	1 台
消 防 ポ ン プ 車	3 台	0 台	3 台
救 助 工 作 車	1 台	0 台	1 台
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	4 台	0 台	4 台
化 学 消 防 自 動 車	1 台	0 台	1 台
小 型 は し ご 付 消 防 ポ ン プ 車	1 台	0 台	1 台
資 機 材 搬 送 車	1 台	0 台	1 台
事 務 連 絡 車	1 台	0 台	1 台
救 命 ボ ー ト	4 艘	0 艘	4 艘
可 搬 ポ ン プ	4 台	0 台	4 台

(3) 債 権 無 し

(4) 基 金

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中 増減額	決算年度末 現在額
財 政 調 整 基 金	274,034	△ 25,329	248,705
消 防 職 員 退 職 手 当 基 金	82,915	10,001	92,915
合 計	356,949	△ 15,328	341,620

10 基金運用状況調書

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中増減額		決算年度 末現在額	備 考
		受入	払出		
財 政 調 整 基 金	274,034	19,048	44,377	248,705	新規積立額 19,045 利子積立額 3 基金取崩額 44,377
消防職員退職手当基金	82,915	10,001	0	92,915	新規積立額 10,000 利子積立額 1 基金取崩額 0
合 計	356,949	29,049	44,377	341,620	新規積立額 29,045 利子積立額 4 基金取崩額 44,377

11 まとめ

組合が有する衛生施設では、火葬施設の中遠聖苑は供用開始から41年、し尿処理施設の衛生センター第1プラントは37年、ごみ処理施設の中遠クリーンセンターは16年経過している。

施設の老朽化が進んでいることから、計画的かつ定期的な点検や修繕を実施することで長寿命化を図り、施設の適正な維持管理及び財政運営に努める必要がある。構成市町や地元自治会等と連携・協力の上、引き続き施設の在り方についての検討を進められたい。

中遠クリーンセンターにおいては、剪定枝や刈草の堆肥化、ジモティーによる粗大ごみのリユースなど可燃ごみの搬入見直し等に取り組みられた結果、前年度より搬入量が減少した。

今後も施設の安全で安定した運転管理に努めるとともに可燃ごみの減量化の方策を研究し、市民への意識づけとなるような周知及び構成市町と連携し、焼却ごみの減量化が一層促進されるよう努められたい。

中遠聖苑については、多死社会が想定される中、新火葬場整備基本構想を策定し、新火葬場候補地選定作業に着手している。財政が厳しい中、早期に候補地を決定し、財源確保に努めるとともに地元対応においても慎重に進めていただきたい。

消防業務については、中東遠総合医療センターのドクターカーとの連携や高規格救急自動車の更新、電動ストレッチャーの導入など住民の救命率向上のため、救急救命体制の強化に取り組まれている。

また、浅羽分署非常用発電設備更新に向け実施設計を行い発電容量の増加などの設備の強化にも取り組まれている。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震への救急隊及び後方支援隊の派遣では、発災初期の搜索活動や傷病者の救急搬送業務に従事された。

今後も地域住民の安心・安全のため、より一層の業務の推進と消防隊員の資質及び技術の向上に努められるとともに、災害時の応援活動も含有しながら、業務に必要な備品・資機材を確実に整備されたい。